

第86号 (2015年7月発行) 目次

■特集 メディアの物質性

「もの」をめぐるメディア研究へむけて ——特集「メディアの物質性」解題	小林 義寛
移動するモノ、設計される経験 ——ケータイの可動性と可変性をめぐって	土橋 臣吾
昭和初期の古写真蒐集家と民間学の資料空間 ——モノの資料化とアーカイブ運営	緒川 直人
出版における書物の物質性をめぐって ——電子書籍・装丁／ブックデザイン・マンガ	玉川 博章
メディアの物質性と媒介性 ——模型史からの考察	松井 広志

■論文

沖縄密約情報公開訴訟と知る権利 「ラジオの声」の生成史 ——1920年代米国のラジオにおける声の経験についての考察	佐藤 潤司 福永 健一
映画観客の読書実践 ——1920年代における映画館プログラムと「観ること」	近藤 和都
ジュークボックスによる音楽聴取の様相 ——1960／1970年代日本の喫茶店を事例に	片桐 早紀
日本の子ども向けテレビ番組におけるホストセリングCMに関する一考察 ——テレビコマーシャルの内容分析を通じて	藤井 達也
「コミックコーナー」の社会史 ——1970-80年代の小売書店空間におけるマンガの市民権の成立過程	山森 宙史

■2014年度秋季研究発表会ワークショップ報告

1 デジタルメディアのインタラクティブ性に関する考察	記録 渋谷 明子
2 とともにガラパゴス化する“日本型ジャーナリズム”と“日本型ジャーナリズム論” ——米英との比較を手がかりに	記録 小黒 純
3 東日本大震災以降のメディアコンテンツの展望 ——NHK朝の連続テレビ小説『あまちゃん』による地域振興に着目して	記録 佐伯 順子
4 雑誌メディア研究の現状 ——日本の論壇雑誌を事例として	記録 山本 昭宏
5 特定秘密保護法の構造と課題	記録 山田 隆司
6 地域映像アーカイブ研究と実践 ——多様なアーカイブをつなぐ理論的アプローチ	記録 水島 久光

- | | | | | |
|----|--|----|----|----|
| 7 | マンガ研究, ジャーナリズム研究とジェンダー研究
——ステレオタイプを手がかりにそれらの立ち位置を確認する | 記録 | 茨木 | 正治 |
| 8 | 韓国におけるジャーナリズム環境の変化と代案メディアの登場 | 記録 | 金山 | 勉 |
| 9 | テレビとネット動画の未来図
——映像産業／映像文化の将来を展望する | 記録 | 田村 | 和人 |
| 10 | 新聞産業の現状とジャーナリズムの行方 | 記録 | 藤森 | 研 |
| 11 | 各国における公共放送の統治システムの検証 | 記録 | 安斎 | 茂樹 |
| 12 | 2000年代以降のメディア文化をどう捉えるか?
——青少年の音楽生活に関する実態調査をもとに | 記録 | 小川 | 博司 |
| 13 | 有権者の政治意識・投票行動とネット選挙運動の解禁 | 記録 | 岩渕 | 美克 |
| 14 | テレビが記録した「震災」「原発」の3年
——震災関連放送アーカイブの可能性と課題 | 記録 | 加藤 | 徹郎 |
| 15 | 1970年前後の少女マンガにおける「西洋」表象 | 記録 | 谷本 | 奈穂 |

■研究会の記録（2015年1月～2015年2月）

テレビ報道番組の政党イメージ・党首好感度に与える影響／地方紙の原点としての「大槌新聞」／検証ジャーナリズム第1回編集と経営の分離を考える／検証ジャーナリズム第2回調査報道を考える／検証ジャーナリズム第3回証言報道を考える／検証ジャーナリズム第4回慰安婦報道検証報告書を読む／検証ジャーナリズム第5回再生委行動計画を読む／「メディア・エンゲージメント」の視点から見たプリントメディアの新たな価値を考える

■日本マス・コミュニケーション学会『マス・コミュニケーション研究』投稿規程

■日本マス・コミュニケーション学会『マス・コミュニケーション研究』執筆要領

■英文抄録